

## ふるさと朝倉を愛するための歴史文化関係事業について

令和5年3月作成の朝倉市教育大綱において、文化・生涯学習部門では、「ふるさとの歴史や文化に触れ合う機会を提供することで、市民の郷土愛を醸成するよう努めます。」（ウ 文化・生涯学習 8頁）としている。一方で、学校教育においては、学校教育目標を「ふるさと朝倉を愛し、社会に貢献できる子どもの育成」としており、「郷土に愛着と誇りを持った子どもの育成」（イ 学校教育 7頁）を掲げている。

次の3事業は、教育大綱の文化・生涯学習施策に基づく事業であり、学校教育の施策を支援するものでもある。

### ① 小・中学生の伝統芸能体験講座

目的 日本の伝統芸能を子どもたちが理解し、継承者育成など文化継承が行われることを目的とする。

概要 平成14年開始で令和5年までに22回開催。甘木連合文化会との共催。伝統文化である生け花、三味線、日本舞踊を、甘木連合文化会会員が指導。各講座10～15人定員で年間10～15回開催。

対象者 市内小・中学生

### ② 古代体験あさくら子どもの日

目的 弥生時代の環境が復元された平塚川添遺跡公園を活用し、古代の技術等の体験を通して、児童が、郷土の歴史や文化を学び、愛着を深めることを目的とする。

概要 平成13年開始で令和5年までに19回開催（R2～R4はコロナで中止）

対象者 市内全11小学校の4年生

主催 教育委員会事務局と、各小学校の主幹教諭等からなる実行委員会

内容 勾玉づくり、火起こし、やり投げ、弓矢など

### ③ 秋月藩成立400年中学校講演

目的 市内中学生に向けて、秋月藩を中心とした地域の歴史を学ぶ機会を設けることで、ふるさとを愛する心の醸成を図ることを目的とする。

概要 秋月藩成立400年事業の一つとして、秋月藩と各校区の歴史を学ぶ講演会。各中学校において実施。

対象者 市内全6中学校生徒

講師 朝倉市秋月博物館長